

アクセシビリティセミナー2011 情報通信アクセス協議会

1

講演内容	講演者	時間
Part1: ウェブアクセシビリティ基盤委員会 活動概要	東京女子大学 渡辺 隆行	10分
Part2: JIS X 8341-3:2010に基づいた ウェブ実装方法の選択	株式会社インフォアクシア 植木 真	30分
休憩		10分
Part3: JIS X 8341-3:2010に基づいた 試験方法	日本障害者協議会 梅垣 正宏 日本アイ・ビー・エム株式会社 福田 健太郎 富士通デザイン株式会社 近藤 真太郎	45分
質疑応答		10分

Part 1

2

ウェブアクセシビリティ基盤委員会 (WAIC) の活動概要

[http://www.ciaj.or.jp/access/
web/](http://www.ciaj.or.jp/access/web/)

渡辺隆行

3

- **ウェブアクセシビリティ基盤委員会委員長, WG1主査**
<http://www.ciaj.or.jp/access/web/>
- **ITRC (日本学術振興会産学協力インターネット技術委員会) UAI (Universal Access to the Internet) 分科会主査**
<http://www.comm.twcu.ac.jp/~nabe/UAI/>
- **東京女子大学現代教養学部・人間科学科 教授**
<http://researchmap.jp/nabe/>

ウェブアクセシビリティの研究・調査
に専念できる職場を探しています



WAICの活動目的

- JIS X 8341-3:2010の理解と普及を促進するため、
- 改正原案作成メンバー、関連企業、関連省庁、利用者が集まって、
- JIS改訂版を実装する際に必要な情報、JIS改訂版に沿った試験や適合性評価を行う際に必要な情報など、
- ウェブサイト作成と評価（試験）の事実上の基準となるベースラインを築いていく。

活動体制

- **ウェブアクセシビリティ基盤委員会**（委員長：渡辺、副委員長：梅垣、植木）
 - **WG1**（主査：渡辺）：JISの正しい**理解と普及**に必要な活動。また、他の作業部会でカバーできない活動、公共組織や海外の動向調査・協力などにも取り組む。
 - **WG2**（主査：植木）：JISの**実装**に必要な資料を作成・公開。JIS実装の際に生じる諸問題を議論・解決。
 - **WG3**（主査：梅垣）：JISを用いた**試験**を実施する際に必要な資料を作成・公開。試験の際に生じる諸問題を議論・解決。

ウェブアクセシビリティ

主に高齢者、障害のある人及び一時的な障害のある人がウェブコンテンツを知覚し、理解し、操作できるようにする

「JIS X 8341-3:2010」

ウェブアクセシビリティの構成要素

7

- ▣ **コンテンツの制作 ← JIS X 8341-3**

Web技術:(X)HTML, CSS, JavaScript, PDF, Flash, Silverlight, . . . , 制作者

- ▣ **オーサリングツール, 評価ツール, 評価者**

- ▣ **ユーザエージェント(支援技術, ブラウザ), 開発者**

- ▣ **ユーザの知識やスキル**

- ▣ **社会的な要求**

ウェブアクセシビリティの実現

8

- ▣ どうやって実装するか？ → Part 2
- ▣ どう客観的に評価するか？ → Part 3
- ▣ どうやって社会的なモチベーションを高めるか？
→ 規格, デザインの必須要素, 社会的責任,
法令, . . .
- ▣ 実証研究 → UAI研究会
- ▣ 教育